

訓練概要

目的

災害時における都市の防災力の向上及び市民の防災意識の高揚を図り、防災関係機関相互の連携強化を図ることを目的として実施する。

実施日時

平成30年1月17日（水曜日）午前9時30分～12時00分

実施場所

末広中央公園（防災公園）及び末広体育館

参加機関

国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所、兵庫県阪神北県民局、兵庫県宝塚警察署、宝塚市自治会連合会、宝塚市自治会ネットワーク会議、宝塚市民生委員・児童委員連合会、ドコモCS関西神戸支店、関西電力株式会社阪神営業所、大阪ガス兵庫導管事業部、災害時応急対策業務協定企業（兵庫県建設業協会宝塚支部、宝塚解放建設業協会、宝塚市土木協力会、宝塚市造園緑化協力会、宝塚水道工事業協同組合、第一環境（株））、緊急物資供給協定企業（株式会社オイシス、セブンイレブンジャパン）、UR都市再生機構、宝塚市医師会、宝塚市社会福祉協議会、宝塚市ボランティア活動センター、宝塚市スポーツ振興公社、兵庫県隊友会伊丹・宝塚・川西地域支部、宝塚市消防サポート隊、株式会社エフエム宝塚、各自主防災組織、各まちづくり協議会、宝塚・防災リーダーの会、宝塚どないしょネット、宝塚市介護保険事業者協会、宝塚市福祉避難所協定施設

協同訓練機関

陸上自衛隊第36普通科連隊

災害想定

平成30年1月17日（水曜日）午前6時45分本市直下を震源とするマグニチュード6.9（市域南部の低地などで震度6強、北部の山地部では震度6弱～5弱）の内陸直下型地震が発生した。

このため、本市では市内全域で被害が発生しており、河川の堤防の破堤による大規模な洪水のほか、建物の倒壊・道路の損壊や、電気、ガス、電話、水道等の各ライフライン施設においても相当の被害が出ると同時に、火災が多発して、救助を求める者、負傷者、避難者が続出している。

訓練写真

避難所開設・運営訓練

訓練内容	訓練の様子
<p>避難所開設訓練 シェイクアウト訓練</p> <p>避難所を開設するため、開設宣言を実施 緊急地震速報鳴動によるシェイクアウトを実施</p>	
<p>避難者受付</p> <p>避難者を避難所内に受け入れ、受付を実施</p>	
<p>居住スペースの確保</p> <p>避難スペースの明示、通路の確保</p>	
<p>避難所運営における役割分担</p> <p>避難者の中から役割分担を行い、避難所の運営体制を確立</p>	
<p>避難所環境整備</p> <p>ダンボールベッド組立、非常トイレ・情報掲示板の設置など、ニーズに対応した環境整備を実施</p>	

避難所運営訓練

訓練内容	訓練の様子
<p data-bbox="395 219 491 248">応急給水</p> <p data-bbox="296 297 584 327">給水車による応急給水を実施</p>	
<p data-bbox="347 497 539 526">救援物資受け入れ</p> <p data-bbox="280 535 596 678">届けられた救援物資の受け入れ、避難者への配給及び在宅避難者への配給対応のための仕分け作業を実施</p>	
<p data-bbox="336 775 550 804">福祉避難所への移送</p> <p data-bbox="280 853 590 920">避難者を対象にトリアージを実施し、福祉避難所へ移送</p>	

避難所運営訓練

実動訓練

訓練内容	訓練の様子
<p>被害情報収集伝達訓練</p> <p>各機関が車両等で被害情報を収集し、訓練対策本部へ報告</p>	
<p>土のう積み訓練</p> <p>地震により決壊した堤防等の応急復旧訓練(三段積み土のう工法)を実施</p>	 
<p>水道施設復旧応急給水訓練</p> <p>地震により破損した水道管の復旧及び給水車による応急給水を実施</p>	 
<p>ライフライン復旧訓練(通信施設・電力・ガス)</p> <p>地震により電気・ガスのライフラインが損傷。関係機関による応急復旧活動として、携帯電話基地局、応急発電、ガス施設の復旧を実施</p>	  
<p>救出救助訓練</p> <p>地震により発生した倒壊家屋、車両の閉じ込めから、関係機関が連携して救助活動を実施</p> <p>また、傷病者が多数発生のため災害現場に応急救護所を開設し、トリアージを実施</p>	   

終了式

訓練内容	訓練の様子
<p>訓練終了式</p> <p>本部長講評</p> <p>市議会議長あいさつ</p>	

